

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 4 年 2 月 10 日時点

事務事業名	コード	4600	コミュニティバス等運行事業	予算科目	会計	課	項目	所管課	企画政策課	担当班	企画調整班
					一般	2	10				
施策体系	基本施策	29	公共交通網の整備	根拠法令	道路運送法、道路法等						
	施策の展開	63	公共交通の確保	戦略事業	259 コミュニティバス等運行事業						
	施策の展開			戦略事業							
											<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 (重点施策) 重4 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input checked="" type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない	
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input checked="" type="checkbox"/> 平成 11 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	1. コミュニティバス運行事業: 自家用自動車運転できない方、高齢者や学生の方などに通院、通学、買い物や公共施設への移動などに利用してもらうために行っている。また、交通不便地域の交通手段を確保するため、コミュニティバス等多様な運行事業の実施・検討を行う。令和2年度はコミュニティバスの運行。ルート・系統数:4ルート・28系統 運賃:200円(但し、障がい者手帳等提示の方は100円、未就学児は無料) 運行事業:千葉交通株式会社(運行協定を締結して運行) 運行協定の中で運行経費から運賃収入、国庫補助(干潟地区ルートのみ)収入を差し引いた額を補助金として補填する。市が購入したバスを貸与。 2. 地域公共交通会議運営事務:コミュニティバスの補助金申請、事後評価、ルート変更等を諮るなど、市内の公共交通について協議する。 構成員:旭市、千葉県、地方運輸局、交通事業者、交通施設管理者等、地域住民代表者又は輸送サービスの事業者	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
利用者の減少により民間路線バスの減便や路線廃止が行われた。そのことから、高齢者等をはじめとした交通弱者の交通手段を確保するため、合併前の各市町によりコミュニティバスや通院バスを運行していた。	少子高齢化による人口減少および新型コロナウイルス感染拡大の影響による利用者数の減少。	現行ルート外の住民から新たなルートの要望・延伸、利用者からは運行回数の増加などの要望がある。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算) 単位:千円		単位	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)	
1. 需用費	856	1. 需用費	39	100	1,125	856	888	
2. 材料及び手数料	151	2. 材料及び手数料	151	151	151	151	152	
3. 備品購入費	202	3. 備品購入費		18,982	18,685	202	220	
4. 負担金補助及び交付金	45,487	4. 負担金補助及び交付金	47,123	49,930	48,150	45,487	48,632	
5. その他	695	5. その他	411	292	2,709	695	614	
② 特定財源の内訳(2年度の決算) 単位:千円		事業費計 (A)						千円 47,724 69,455 70,820 47,391 50,506
1. 国庫支出金		1. 国庫支出金			433			
2. 都道府県支出金		2. 都道府県支出金						
3. 地方債		3. 地方債						
4. その他	216	4. その他	312	18,225	18,350	216	216	
		5. 一般財源	47,412	51,230	52,037	47,175	50,290	

前年度増減理由	1年度は大幅なルート・ダイヤ見直し、停留所備品や、車内音声案内等のシステム改修が必要となった。また、新たに総合公共交通マップ、回数券等を印刷を実施したため2年度に比べ事業費が増となっている。
---------	---

従事職員数 常時 1人 最大 2人 × 30日 = 延べ 60人

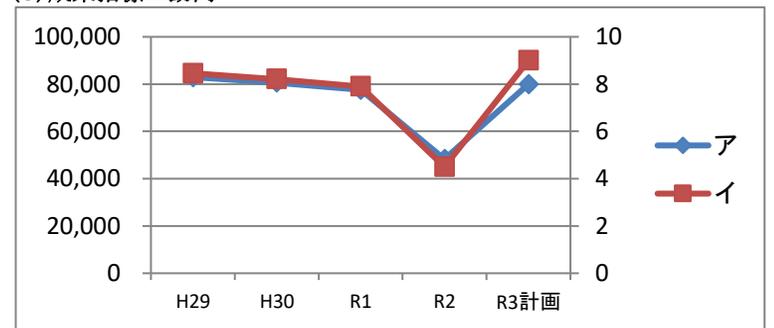
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動) ・コミュニティバスのルート・ダイヤの見直し。 ・コミュニティバスの車両改修(両替機付運賃箱設置)。 ・総合公共交通マップ印刷・配布。 ・回数券・一日乗車券販売開始。	ア 1日当たりの便数(土・日曜日、祝日) イ 停留所数	便 箇所	33(25) 199	33(25) 199	33(25) 199	37(28) 174	37(28) 175
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	対象意図 市民(主に交通弱者の方) 対象意図 通院、通学・通勤、買い物、公共施設の利用等ができるようになることにより生活の活動域が広がる 対象意図	ア 年間利用者数 イ コミュニティバス平日1便当たりの利用者数	人 人	82,955 8.5	80,638 8.2	77,556 7.9	48,262 4.5	80,000 9.0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	成果向上余地	コスト比率		
	かなりある	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	ある程度ある			
大きい	①			(6)
普通				
小さい				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難											
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)												
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	向上	横ばい	低下	比較	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度
【コメント】 (低下の場合、その理由)							成果動向	29年度	30年度	1年度	2年度	3計画
							ア	△5,076	△2,317	△3,082	△29,294	31,738
							イ	△0	△0	△0	△3	5
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組みたい事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()								
	R3.4~R4.3	来年度に完成するみらいあさひに乗り入れるようにコミュニティバスのルート・ダイヤを作成し準備を進める。		地域公共交通計画の策定準備、公共交通再編事業(コミュニティバスの再編、デマンド交通の運行等)の評価・検証を行い、利用しやすく将来にわたり持続可能な公共交通の実現を目指す。また、老朽化したコミュニティバス車両について、安全運行のため適切な時期に更新を行う。								